

太陽の子保育園平成24年7月

7月になり、気温がぐんぐん高くなってきましたね。7日は小暑、22日は大暑。文字を見るだけで、暑そうです。今年も「節電の夏」になりますが、子どもは、体温調節の働きが未熟で、大人より暑さの影響をうけやすいので、注意が必要。体調の変化に気をつけて、無理なく、元気に過ごしましょう。

プールOK? チェックリスト

子どもたちの大好きなプール。
元気に楽しくあそべるよう、
毎朝の体調チェックをお願いします。

□熱は何度ですか?
37.5°C以上が、プールに入れない目安ですが、平熱は子どもによって違うので、ふだんの平熱を考慮して判断します。

□食欲はありますか?
□前日、よく眠りましたか?
□目やにや充血はありませんか?
朝だけの目やには心配ないことが多いのですが、昼間も目やにや充血が見られるようなら、結膜炎のおそれもあります。
□せき・鼻水は出ていませんか?
食欲がない、発熱などの全身症状がなければ、基本的には心配ありません。
□皮膚に異常はありませんか?
傷やただれがあって乾燥していない場合は、プールは避けたほうがいいでしょう。

食中毒に要注意

温度と湿度が高くなるこれから、食中毒が多く発生する時期です。お弁当は、当日の朝に十分加熱したものを入れ、熱いものと冷たいものはいっしょに入れないようにしましょう。また、お弁当箱は、熱湯消毒を心がけてください。



つめを切ってOK!
清潔に

つめが伸びていると、つめと指の間にばい菌が繁殖しやすくなります。また、乳幼児のやわらかい肌を傷つける危険性もありますので、つめは、こまめに切るようにしましょう。ただし、深づめには要注意! 切りすぎて肌を傷つけ、化膿してしまうこともあります。



0歳児健康診断

7月27日(金)

12時30分~

6月の感染症

溶連菌感染症

…1名

突発性発疹

…2名



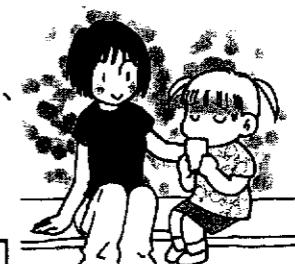
1年のうちでも
5~9月は紫外線の多い時期。
外に出るときは、必ず帽子をかぶるようにしましょう。帽子は、つばが広く、通気性のよい素材のものがおすすめです。

帽子をかぶいまし

■ 应急手当てSOS ④ 热中症

基本的手当て

- ①涼しい場所に移動し、からだを冷やす。
- ②水分をとらせる。



ここがポイント

- ★暑い日の外出時は、こまめに様子を見る。
- ★こんなときは、すぐに病院へ
 - 皮ふが赤く、熱く、乾いているとき
 - ぐったりしているとき
 - 反応がいつもどちがうとき

